

### 第3回全国高校生『観光甲子園』本選出場

能勢町では、絶滅危惧種の動植物が生息するなど、里山をはじめ貴重な自然が多く残されています。また、特産の銀寄栗や能勢浄瑠璃などの伝統・文化が継承されるなど、「大阪のてっぺん」として誇れるものも多くあるものの、全国的な知名度は高くありません。そこで、本校生徒会役員5名(岡田尚也・加藤史帆・遠山遥・石田麻莉・堀口滉平)が中心となり、自分たち自身が能勢町のすばらしさを再認識することにより、能勢町のすばらしさを全国にPRするとともに、グリーンツーリズムなど、能勢町の観光と産業の振興につながるよう、実際の観光プランを計画することになりました。

最初は、どのような内容のプランにしていくのか戸惑いましたが、能勢町に住む高校生の感性を第一に、能勢に埋もれている素晴らしい場所や人・施設(いわゆるお宝)を探してもらうことにねらいをしぼり、「能勢まるごと短期留学！！～スローライフ体験 能勢のお宝探し～」という観光プランを作成させました。

そして、このプランをもとに、第3回全国高校生『観光甲子園』(神戸夙川学院大学等主催、文部科学省等後援)に応募したところ、応募総数72校(134プラン)の中から10校(10プラン)に選ばれました。

本選大会は、8月21日(日)、神戸夙川学院大学で行われ、パワーポイント等を利用したプレゼンテーションにより競われます。当日は、出場10校の地域特産品の販売やPRの企画もあるそうです。また、能勢町からは、私たちの応援のために観光バスを手配していただくことも聞いており、町全体をあげての取組みになってきています。グランプリの文部科学大臣賞をめざして頑張りますので、ご期待ください。